



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 幸楽苑

コード番号 7554 URL <http://www.kourakuen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 傳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 武田 典久

TEL 024-943-3351

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,229	0.2	1,515	△7.9	1,553	△8.6	664	2.5
23年3月期第3四半期	26,165	△1.9	1,645	△10.2	1,701	△8.7	648	△31.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 667百万円 (3.0%) 23年3月期第3四半期 647百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	40.86	—
23年3月期第3四半期	39.87	39.84

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	21,745	9,758	44.7	598.51
23年3月期	19,505	9,409	48.1	577.45

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,728百万円 23年3月期 9,386百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,137	3.5	2,012	2.7	2,063	1.8	703	6.3	43.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	16,268,441 株	23年3月期	16,268,441 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	14,477 株	23年3月期	14,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	16,254,010 株	23年3月期3Q	16,254,144 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
3. 四半期連結財務諸表等 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響から不況感が大幅に強まっておりますが、震災からの復興・復旧に伴い、生産活動や消費環境に持ち直しの動きも見られております。しかしながら、原子力災害や電力供給不足に加え、海外経済の減速懸念や欧州の財政問題、急激な円高の進行・長期化等、先行きに対する不透明感が依然として根強く、本格的な景気回復には時間がかかるものと思われまます。また、雇用・所得環境も厳しい状況にあることから消費マインドは低迷、個人消費も低調に推移し、デフレ基調が継続しております。

外食産業におきましても、景気低迷による節約志向から外食機会が減少する一方、放射能汚染問題・食中毒事件の発生から「食の安全・安心」に対する消費者意識が高まっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、継続的な店舗QSC（クオリティ・サービス・クリンリネス）レベル向上対策と商品戦略強化による顧客満足度向上に取り組むとともに、1,000店舗体制実現と業界シェア拡大に向けた出店戦略に基づき、既存商勢圏内へのドミナント出店を積極的に推し進めてまいりました。また、自社工場における主要食材の大量生産システムによるメリットを最大限に発揮することで低価格戦略を継続するとともに、「食の安全・安心」を提供するため、新たに放射線測定機器を導入した社内検査体制を構築する等、従来の品質管理体制をさらに強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は26,229百万円（前年同期比0.2%増）の増収となり、営業利益は1,515百万円（同7.9%減）、経常利益は1,553百万円（同8.6%減）の減益となりましたが、特別損失が減少したことから、四半期純利益は664百万円（同2.5%増）の増益となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末のグループ店舗数は468店舗（前年同期比36店舗増）となりましたが、このうち福島第一原子力発電所の事故に伴い、警戒区域に指定された地区のフランチャイズ加盟店1店舗については、営業を見合わせております。

セグメント別の業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高または振替高を含んで表示しております。

#### ① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「マイスター制度（社内調理資格制度）」と「テーブル担当制（テーブル・サービス・レストラン型オペレーション）」を柱としたQSCレベル向上対策に継続的に取り組み、高品質で安定した商品提供ときめ細かいサービスにより、すべてのお客様に感動・感激の場を提供できる店舗づくりを目指してまいりました。また、震災復興応援として「お子様元気セット（199円）フェア」や「焼ギョーザ（105円）フェア」等を実施いたしました。さらに、マネジメントレベル向上を目的とした店長教育を強化することで、競合他社との競争に地域・店舗別で迅速に対応できる人材を育成するとともに、店舗ごとの売上・利益管理の徹底に努めてまいりました。

商品面におきましては、ニーズに対応した季節メニューをタイムリーに導入してまいりました。夏場は猛暑を想定し、「冷し担担麺」や「野菜辛しもりそば」等の夏季メニューを導入して冷たい商品のバリエーションを充実させたほか、秋季期間限定メニューとして、「豚バラ中華そば」「贅沢濃厚魚介つけめん」、冬季期間限定メニューとして、「担担麺」「五目野菜らーめん」「酸辣湯麺」「コチジャン辛しらーめん」等を順次導入し、お客様からの高い注文率と客単価の向上につなげております。また、時間帯ごとのニーズに対応するため、ランチメニューの販売強化やディナータイム限定メニューの導入を進めているほか、コア商品となる「中華そば」のブラッシュアップにも取り組んでまいりました。

これらの諸施策により当第3四半期連結会計期間（平成23年10～12月）の直営既存店売上・客数は前年同期比で100%を上回りました。しかし、厳しい経営環境の影響により9月までの前年同期比のマイナスが大きかったことから、当第3四半期連結累計期間においては、直営既存店売上高前年同期比4.2%の減少、客数前年同期比5.5%の減少となりました。

店舗展開につきましては、年間41店舗の新規出店計画に対して、当第3四半期連結累計期間において関東地方を中心に新規に直営店「幸楽苑」43店舗、出店形態別ではロードサイド41店舗、ショッピングセンター内フードコートタイプ1店舗、ビルインタイプ1店舗を出店いたしました。また、スクラップ・アンド・ビルドを直営店1店舗で実施するとともに、スクラップを直営店3店舗で実施いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店441店舗（前年同期比36店舗増）となり、業態別には「幸楽苑」441店舗となりました。

この結果、売上高は25,262百万円（前年同期比0.7%増）となりましたが、新規出店費用が増加したこと（新規出店数前年同期比33店舗増）等から営業利益は2,887百万円（同2.8%減）となりました。

## ② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業（ラーメン業態のフランチャイズ加盟店24店舗）、その他外食事業（和食業態及びハンバーグ業態の店舗展開）、損害保険及び生命保険の代理店業務、広告代理店業務を行っております。

その他外食事業の店舗展開につきましては、当第3四半期会計期間末において直営店3店舗となり（前年同期比増減なし）、業態別には「和風厨房伝八」（和食業態）2店舗、「フライングガーデン」（ハンバーグ業態）1店舗となっております。和食業態においては、「石焼チャーハン」等の新メニュー導入効果もあり、売上高・客数ともに前年同期比100%を上回りました。

また、グループ内の販売促進活動の強化により、広告代理店業務の売上高が増加したこと等から、売上高は1,347百万円（前年同期比4.1%増）となり、不採算事業からの撤退やコストコントロールの徹底により、営業利益は244百万円（同24.7%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて712百万円増加し、3,300百万円となりました。これは、現金及び預金が721百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,527百万円増加し、18,444百万円となりました。これは、建物が582百万円、リース資産が934百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2,239百万円増加し、21,745百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて567百万円増加し、6,736百万円となりました。これは、一年内返済長期借入金が364百万円減少したものの、買掛金が442百万円、未払法人税等が62百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,324百万円増加し、5,250百万円となりました。これは、長期借入金907百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が335百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,891百万円増加し、11,987百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて348百万円増加し、9,758百万円となりました。これは、利益剰余金が339百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日発表の連結業績予想及び個別業績予想をそれぞれ修正しております。修正の内容につきましては、平成23年10月24日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成23年10月24日発表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,544,120	2,265,595
売掛金	126,388	183,994
たな卸資産	264,579	287,190
その他	653,315	564,060
流動資産合計	2,588,403	3,300,840
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,884,913	5,466,937
土地	3,954,241	3,954,241
リース資産	1,272,162	2,206,834
その他（純額）	778,873	1,026,018
有形固定資産合計	10,890,191	12,654,031
無形固定資産		
投資その他の資産	171,283	179,139
敷金及び保証金	2,121,406	2,205,672
その他	3,737,144	3,408,655
貸倒引当金	△3,025	△3,032
投資その他の資産合計	5,855,525	5,611,295
固定資産合計	16,917,000	18,444,466
資産合計	19,505,403	21,745,306
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,333,064	1,775,455
1年内返済予定の長期借入金	1,529,332	1,164,490
未払法人税等	251,911	314,035
その他	3,055,267	3,482,877
流動負債合計	6,169,575	6,736,858
固定負債		
長期借入金	1,856,640	2,764,610
資産除去債務	533,086	585,306
その他	1,536,532	1,900,391
固定負債合計	3,926,259	5,250,308
負債合計	10,095,834	11,987,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,661,662	2,661,662
資本剰余金	2,658,096	2,658,096
利益剰余金	4,085,722	4,424,929
自己株式	△19,836	△19,968
株主資本合計	9,385,644	9,724,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	3,705
為替換算調整勘定	—	△176
その他の包括利益累計額合計	421	3,529
新株予約権	23,504	22,386
少数株主持分	—	7,504
純資産合計	9,409,569	9,758,139
負債純資産合計	19,505,403	21,745,306



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	26,165,883	26,229,496
売上原価	7,155,120	7,037,113
売上総利益	19,010,763	19,192,382
販売費及び一般管理費	17,364,910	17,677,330
営業利益	1,645,852	1,515,052
営業外収益		
受取利息	31,568	27,540
固定資産賃貸料	107,050	122,512
その他	90,797	113,885
営業外収益合計	229,415	263,938
営業外費用		
支払利息	52,950	41,469
固定資産賃貸費用	97,870	119,496
その他	23,298	64,292
営業外費用合計	174,119	225,258
経常利益	1,701,148	1,553,732
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	31,012	40,122
その他	44,030	11,327
特別利益合計	75,042	51,449
特別損失		
投資有価証券評価損	34,206	32,364
減損損失	29,412	83,812
その他	401,206	18,864
特別損失合計	464,824	135,041
税金等調整前四半期純利益	1,311,366	1,470,140
法人税、住民税及び事業税	593,050	648,060
法人税等調整額	70,239	157,792
法人税等合計	663,290	805,852
少数株主損益調整前四半期純利益	648,075	664,288
少数株主利益	—	—
四半期純利益	648,075	664,288

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	648,075	664,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△292	3,284
為替換算調整勘定	—	△360
その他の包括利益合計	△292	2,924
四半期包括利益	647,782	667,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,782	667,396
少数株主に係る四半期包括利益	—	△183

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	期別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)前期	
	自	至	自	至	自	至	自	至
	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%		%
らーめん類	12,898,514	49.3	12,254,567	46.7	16,617,686	49.0		
セット類	8,512,639	32.5	9,536,066	36.4	11,151,664	32.9		
ギョーザ	1,827,756	7.0	1,714,791	6.5	2,463,545	7.3		
ごはん類	459,736	1.8	474,129	1.8	592,180	1.7		
ドリンク類	646,521	2.5	652,079	2.5	806,871	2.4		
洋食類	70,398	0.3	43,757	0.2	86,096	0.2		
うどん・和食類	80,904	0.3	86,049	0.3	103,634	0.3		
その他	767,128	2.9	671,097	2.6	959,264	2.8		
計	25,263,599	96.6	25,432,540	97.0	32,780,943	96.6		
F C店等材料売上	760,821	2.9	660,319	2.5	970,007	2.9		
ロイヤリティ収入	85,129	0.3	78,636	0.3	108,619	0.3		
その他	56,334	0.2	58,000	0.2	72,727	0.2		
合計	26,165,883	100.0	26,229,496	100.0	33,932,298	100.0		

(注) 1 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。  
 2 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	期別			前第3四半期			当第3四半期			(参考)前期		
	自	至	期末店舗数	自	至	期末店舗数	自	至	期末店舗数	自	至	期末店舗数
	売上高	百分比	店	売上高	百分比	店	売上高	百分比	店	売上高	百分比	店
福島県	2,407,670	9.5	36	2,570,470	10.1	37	3,103,914	9.5	34			
宮城県	2,323,884	9.2	33	2,464,256	9.7	36	2,954,986	9.0	31			
山形県	668,374	2.6	10	681,924	2.7	11	867,668	2.6	10			
栃木県	1,274,852	5.0	21	1,460,100	5.7	27	1,679,898	5.1	22			
新潟県	756,752	3.0	14	698,429	2.7	14	976,839	3.0	14			
茨城県	1,945,497	7.7	31	1,903,644	7.5	33	2,502,473	7.6	31			
群馬県	629,377	2.5	11	682,377	2.7	14	822,227	2.5	11			
埼玉県	2,590,356	10.2	38	2,619,294	10.3	46	3,369,094	10.3	38			
千葉県	2,409,245	9.5	37	2,580,515	10.1	43	3,166,123	9.7	39			
東京都	1,804,472	7.1	22	1,773,871	7.0	26	2,368,569	7.2	22			
神奈川県	1,480,086	5.9	23	1,560,654	6.1	27	1,937,998	5.9	23			
秋田県	619,976	2.5	11	587,682	2.3	11	780,094	2.4	11			
静岡県	1,107,852	4.4	20	1,058,825	4.2	21	1,448,396	4.4	20			
山梨県	417,834	1.7	7	402,799	1.6	7	552,457	1.7	7			
愛知県	1,547,772	6.1	31	1,383,780	5.4	30	2,015,749	6.1	30			
三重県	435,088	1.7	8	388,191	1.5	8	566,737	1.7	8			
岐阜県	401,445	1.6	8	369,107	1.5	8	523,536	1.6	8			
長野県	460,092	1.8	7	503,612	2.0	10	601,668	1.8	7			
京都府	64,815	0.3	2	84,707	0.3	2	94,751	0.3	2			
滋賀県	133,008	0.5	2	63,334	0.2	1	155,200	0.5	2			
大阪府	297,424	1.2	6	213,232	0.8	5	377,735	1.2	5			
奈良県	28,409	0.1	1	22,198	0.1	0	37,176	0.1	1			
富山県	169,278	0.7	3	149,546	0.6	3	217,615	0.7	3			
兵庫県	421,120	1.7	10	369,473	1.5	9	553,225	1.7	9			
岩手県	294,301	1.2	4	304,980	1.2	4	374,474	1.1	4			
青森県	381,226	1.5	7	395,503	1.6	8	487,359	1.5	8			
福井県	173,206	0.7	4	125,997	0.5	3	219,045	0.7	3			
和歌山県	20,176	0.1	1	14,023	0.1	0	25,924	0.1	1			
計	25,263,599	100.0	408	25,432,540	100.0	444	32,780,943	100.0	404			

(注) 1 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。  
 2 千円未満は切り捨てて表示しております。